

平成29年度第1回那須塩原市環境審議会 会議録

1 開催日時 : 平成29年8月24日(木)午後2時～3時

2 開催場所 : 本庁201会議室

3 出席者 : ○委員 15人中10人(別紙のとおり)

○事務局 山田生活環境部長、五十嵐環境管理課長、相馬環境対策課長、
黄木環境管理課長補佐、大野環境対策課長補佐、
月井那須塩原クリーンセンター所長、染谷環境企画係長、
渡邊公害対策係長

4 内容 : 下記のとおり

1 開会 ※進行…黄木課長補佐

2 あいさつ(月井副会長、山田部長)

3 自己紹介 ※進行…黄木課長補佐

4 議題 ※進行…月井副会長

(1) 平成28年度那須塩原市の環境保全の取組について

渡邊係長、染谷係長が資料1により説明した。

(2) 平成28年度那須塩原市環境基本計画の進捗状況について

染谷係長が資料2により説明した。

【主な質疑内容(要旨)】 ○:意見・質問 ●:回答

○千葉委員

7ページの公害防止協定等水質調査に関して、事業所への調査は抜き打ちで実施するののか?

●渡邊係長

調査は市が立会う場合と、協定を結んでいる事業所が自主的に実施し、結果を報告してくるものがあるが、市が立会う場合は事前に通知している。

○千葉委員

事前に通知がある場合は細工等が懸念される。予告なしで行くことはないのか?

●渡邊係長

公害防止協定を結んでいる事業所以外の、特定事業場の場合は抜き打ちで実施することもある。

●福土委員

水質汚濁防止法は、県北環境森林事務所で所管しているが、立ち入り調査は抜き打ちで実施している。市の協定等に基づき実施されるものは別なケースとなる。

○大木委員

太陽光発電設備設置に伴う森林伐採等の問題について、市の環境基本計画で森林の保全等を掲げているが、実際に問題が起きているのか？起きている場合は要綱や条例の制定を検討しているのか？

●山田部長

メガソーラーの計画もあることから、今年度中にガイドラインの策定を予定している。ガイドラインで考え方を整理し、必要に応じて条例の制定を検討していく。

○大木委員

後出しジャンケンでは負けてしまう。国立市のように住民訴訟や損害賠償になる例もある。なるべく早めに用意しておく必要がある。

●山田部長

今年になって国でガイドラインを策定するなど、後手に回っている感はある。遑つての規制は難しい部分もあるが、やらなければならない問題であると認識している。

○月井委員

栃木県はイチゴの産地となっているように冬場の日照時間が長い。那須塩原市は平地林の面積も広く、太陽光発電には条件が適しているため設置されやすい。何らかの措置を講じていかないと、後戻りできなくなってしまう。

●山田部長

従来から市の特徴である平地林を守る術を考えてはいるが、決め手となる手段がないのが現状である。平地林をどうやって守っていくのかは今後も考えていく必要がある。

○月井委員

地権者の問題もあると思う。

●山田部長

地権者が了解すると難しい部分もある。

○大木委員

要綱よりは条例を制定した方がよいので、早めに検討いただきたい。

○月井委員

公害苦情取扱件数の4ページ【塩原地区】の、その他68件の内訳として、空き地の管理問題とあったが、住宅よりも田畑等農地関係のものが多いのか？

●大野課長補佐

耕作放棄地は農業委員会等で管理しているため、農地関係の苦情は環境部門で集計する数値には含んでいない。

5 その他 ※進行…黄木課長補佐

【市の規則で定める希少野生動植物種の見直しについて・・資料3】（染谷係長）

昨年度作成した市のレッドデータブックの選定結果と整合を取るため、規則で定める希少野生動植物種の見直しを予定している。

市の動植物調査研究会で検討した結果、レッドデータブックのA・B・Cランクの計296種を、新たに規則で定める希少種とすることが妥当となった。

現在、資料を作成中のため後日郵送させていただき、環境審議会の意見を聴いた上で、規則改正の手続きを行いたい。

【なすしおばらエコポイント制度及び環境家計簿について】（染谷係長）

環境管理課では、環境連絡会民生家庭部会と協働で各種取組を推進している。今年度から新たに「なすしおばらエコポイント制度」を創設したので、環境家計簿と併せて審議会委員の皆様にもPRをお願いしたい。

【会議録の署名について】（黄木課長補佐）

本日の会議録の署名については、福士委員にお願いします。

6 閉会（黄木課長補佐）

閉会の宣言

平成29年 9月4日

会議録署名委員

福士 宏樹